

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度			
事務事業名	引田城跡保存活用事業			担当課名 生涯学習課
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 令和2年3月に国史跡に指定された引田城跡の認知度を高めるとともに、保存活用を進める。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ○来訪者 2,500人／年 ○ハイキングガイド利用 250人／年 【達成値(R7実績値)】 ○来訪者 1,938人／年 (続日本100名城スタンプラリー) ○ハイキングガイド利用 35人／年		■具体的取組 ○国指定史跡引田城跡調査整備等委員会の開催 ・令和7年8月4日に第1回委員会を開催し、学識経験者及び地元関係者9名に委員を委嘱した。 ・令和8年2月4日に第2回委員会を開催し、発掘調査及石垣カルテ等の概要を委員に説明した。 ○受入体制の充実 引田城跡への来訪者に対応するため、駐車場や仮設トイレ等の維持管理の行った。 ○啓発活動の実施 故香川元太郎氏の作成した鳥瞰図式の引田城歴史考証図の下絵を元に、デジタル復元図の公開作業を進めた。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ○全体 3,181千円 【主な内訳(文化財保護費)】 ・報償費 167千円 ・需用費 57千円 ・役務費 12千円 ・委託料 2,790千円 ・賃借料 155千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○調査整備等委員会の開催 ・委員会開催 2回 ○受入体制の充実 ・駐車場、仮設トイレの管理 ○啓発活動の実施 ・続日本100名城スタンプラリー ・引田城跡ハイキングガイド ・ガイドマップの配布	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) ○国指定史跡引田城跡調査整備等委員会の開催 国指定引田城跡保存活用計画に基づき、今度10年間の事業を計画的に進めていくため、外部有識者等からの専門的な意見を反映させることで、史跡としての価値を高める。 ○受入体制の充実 駐車場及び仮設トイレの清掃により、衛生面を保つよう取り組み、来訪者の利便性を高める。 ○啓発活動の実施 より引田城跡の認知を高めるため、市内の小中学生や市外の来訪者に時代背景等が分かりやすく伝える工夫をする。	■検証結果を受けての具体的対応 ○国指定史跡引田城跡調査整備等委員会の開催 委員会の設置により学識経験者と地元関係者が一体となって事業を進めていく体制づくりができたことより、計画上の課題をもれなく解決していく組織体制を継続していく。 ○受入体制の充実 ・引田城跡周辺の山林は、国有林、瀬戸内海国立公園、保安林など、整備にあたり様々な規制があるため、管理等について関係機関との協議を進める。 ・令和8年度中に石垣カルテの作成に着手し、石垣毎の安全性及び処置の必要な箇所を確認する。 ・ハイキングガイドが団体利用から個人利用へ移行し、大幅な誘客増は見込めないことから、地元ガイドの意見を参考に、指標の見直しを検討する。 ○啓発活動の実施 デジタル技術を用いて、往時の姿の再現を進めるなど、認知を高めるための啓発活動を継続する。 ■評価
現状維持				

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。